

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172000788		
法人名	有限会社 アイケア小樽		
事業所名	グループホーム アイケア小樽		
所在地	北海道小樽市若松2丁目1番18号 (電話) 0134-21-3222		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年12月26日	評価確定日	平成20年1月7日

## 【情報提供票より】(平成19年12月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年3月16日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	17人, 非常勤1人, 常勤換算6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000円	その他の経費(月額)	26,000~38,000円
敷金	(有) 58,000円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 450円
	夕食	500円	おやつ 50円
	または1日当たり		円

### (4) 利用者の概要(12月18日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	6名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 83.5歳	最低	72歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	北海道済生会 小樽病院 医療法人社団 三ツ山病院 医療法人社団 市村歯科クリニック
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR南小樽駅より徒歩圏内で交通の利便性に優れ、閑静な住宅街に位置するグループホームです。教育・訓練の年間研修スケジュールに基づき、管理者・職員の段階毎に応じて計画が立てられ法人内外の研修を受ける機会が確保されケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、ホーム独自の利用者・家族アンケートが実施されて、そこでの結果が運営に反映されるように改善の機会が確保されています。居間からは、中庭に出られるようにスロープになっており日光浴を楽しめたり、畑では野菜作りや収穫が職員と一緒に楽しんで行われています。また、利用者の食の嗜好調査も実施され、食事が楽しみなものとなるような取り組みが行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、注意の必要な物品の管理について改善点があげられていましたが、薬や刃物、洗剤等の取り扱いに注意が必要な物品については保管方法、保管場所が明確に取り決められて職員間で共有され実施されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、フロア会議で話し合わせ職員の意見や業務の見直しの改善の機会として話し合わせケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、評価結果を改善の機会として利用されて取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。議題については一日の生活の様子について地域の交通について入居者の生活について見学運営推進委員及び家族との意見交換 今後は2ヶ月に一度、定期的な運営推進会議の開催が検討されています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム独自の利用者・家族アンケートが実施されて、そこでの結果が運営に反映されるように取り組まれていると共に「グループホーム アイケアおたる」を年3回発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に伝え意見や不安などが言いやすい取り組みがされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に加入して、七夕祭りや廃品回収、川掃除など町内行事参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣の小学校の運動会見学や園児との交流が行われたり、小樽祭りに参加するなど日常生活を通じて地域との連携の取り組みが行われ認知症に対する理解や広報に取り組まれています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念をつくりあげて、共用空間に明示している。また、職員個々の写真を玄関に掲示して来訪者に分かりやすく工夫している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	名札に理念を携帯して、理念の浸透をはかっている。また、日々の申し送りで理念の共有に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、七夕祭りや廃品回収、川掃除など町内行事参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣の小学校の運動会見学や園児との交流が行なわれたり、小樽祭りに参加するなど日常生活を通じて地域との連携の取り組みが行われ認知症に対する理解や広報に取り組まれています。		今後は、運営推進会議や火災避難訓練参加も町内の人達に呼びかけて、さらに連携を深めていくことが検討されている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、フロアー会議で話し合わせ職員の意見や業務の見直しの改善の機会として話し合わせケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、評価結果を改善の機会として利用されており、評価結果を改善の機会として利用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。メンバーは利用者、家族、民生委員、町内会役員、近隣住民、管理者、職員で構成され、意見交換など具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後は2ヶ月に一度、定期的な運営推進会議の開催が検討され、行政及び包括支援センターの協力を得ながら火災避難訓練の実際や研修会の企画など具体的な活動が計画され今後期待されます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性を認識して、日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらに行政や包括支援センターとの協働で、地域の人達を交えた有効な意見交換ができるように検討されている。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム独自の利用者・家族アンケートが実施されて、そこでの結果が運営に反映されるよう取り組まれていると共に「グループホーム アイケアおたる」を年3回発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に伝えています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる体制が整っている。また、状態変化については都度電話連絡などで報告している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>玄関入り口に職員の写真を掲示するなど情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育・訓練の年間研修スケジュールに基づき、管理者・職員の段階毎に応じて計画が立てられ法人内外の研修を受ける機会が確保されケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、実践者研修や市主催の外部の研修参加も奨励されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流も徐々に行なわれ、同一法人の他グループホームとの相互訪問が行われている。		今後は、さらに他施設との職員の相互訪問や研修会の企画など検討されてみては如何か。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者・家族と話し合いながら不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴を把握して、畑作業を職員と一緒に楽しんで。また、玄関先の前庭でジンギスカンを楽しんだり、ホームで出張サービスのお寿司屋さんを呼び握り寿司を食べるなど本人の思いに沿った支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>近隣への散歩やスーパーでの買い物ツアー、小樽祭り見物、七夕祭りでの野外の食事など外出の機会を多く作ったり、刺し子や食事の準備・後片付け、畑作業などの趣味への支援や食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月カンファレンスが実施され、職員の意見を取り入れたアセスメント、モニタリングが行なわれ利用者、家族の希望や医師からの助言・情報を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族のその時々々の要望や状況に応じて、通院や医師の往診、散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、提携先の歯科医院の歯科衛生士による口腔ケアの指導も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者一人ひとりの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、医師・歯科医師による往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、医療機関と連携して利用者・家族とも繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有され話し合われている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した声かけが支援され取り組まれています。また、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いや今の気持ちを尊重して、散歩や買い物、畑作業やお祭り見物などの外出、食事の準備や後片付け、刺し子や縫い物など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように、利用者の食の嗜好調査も実施され職員と利用者が一緒になって楽しんで食事の準備や食事をしている。また、和やかな雰囲気での食事風景でした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めているが、利用者の希望に応じて対応している。また、安全に配慮されゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、畑での野菜の収穫、刺し子や縫い物、洗濯物たたみ、食事の準備や後片付け、食器洗い、野外でのジーンズカンなどの昼食や買い物、お祭り見物など気分転換のための外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの買い物や散歩、お祭り見物、敷地内での野外の昼食、七夕祭りや小樽祭り見物、酒造メーカー見学など気分転換ができるように外出の機会も多くできるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が作られ日中は、居室や玄関には、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に速やかに対応ができるように、利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても自主点検が実施され対策されています。		今後は、運営推進会議や近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して、日頃より地域の協力が得られる働きかけを行うことが検討されています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量がチェック表に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。		今後は、摂取カロリーや栄養バランスについて市の保健所に相談することが予定されています。また、食事療法についても助言や指導を受ける計画がされています。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間などの共用の空間では、利用者が気になる音の大きさや臭いは感じられない。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。中庭では、畑作りや日光浴を楽しむことができ気分転換ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家族と相談して使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、換気や湿度にも配慮された取り組みが行われている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。